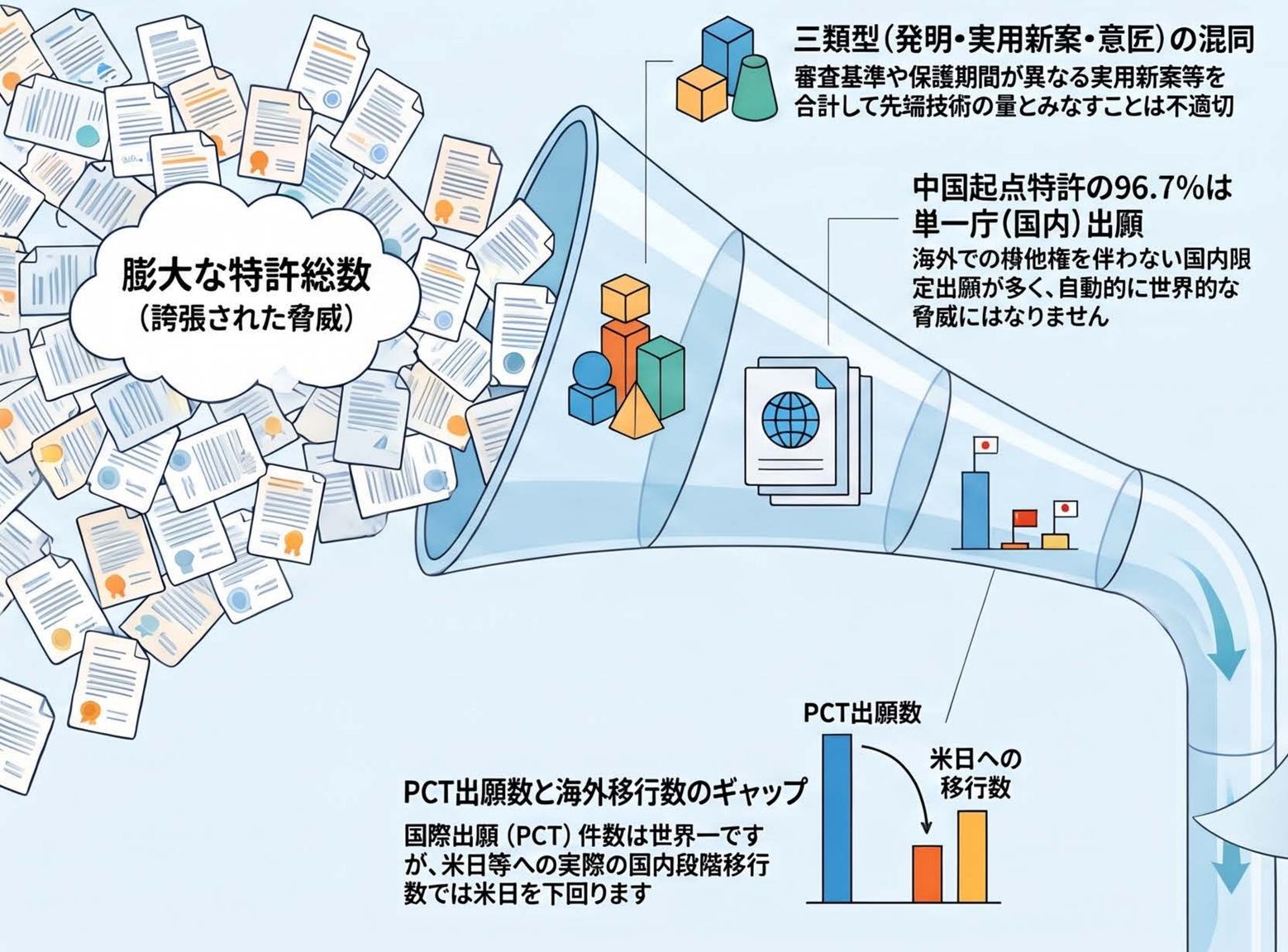
中国特許の急増は真の脅威か？ 数値の誤解と実質リスクの見極め方

「特許総数＝競争力」の3つの誤解



三類型（発明・実用新案・意匠）の混同

審査基準や保護期間が異なる実用新案等を合計して先端技術の量とみなすことは不適切

中国起点特許の96.7%は単一庁（国内）出願

海外での権利を伴わない国内限定出願が多く、自動的に世界的な脅威にはなりません

PCT出願数と海外移行数のギャップ

国際出願（PCT）件数は世界一ですが、米日等への実際の国内段階移行数では米日を下回ります

実質リスクの所在と判定プロセス

真のリスク判定プロセス
（4つの精査手順）



主要技術分野における実質リスク比較

分野・市場	リスク判定	評価の根拠とポイント
通信・5G・IoT	強い	自己宣言SEP数ではなく、実必須性とFRANDライセンス実績が直結する
EV電池・クリーンテック	非常に強い	特許以上に、世界の80%超を占める量産能力と供給網の集中がリスクとなる
半導体	中程度〜強い	総産出額は大きいが、先端ノード・露光装置・EDAなど工程ごとの精査が必要

Gemini Notebook